

# 令和元年8月 全国百貨店売上高概況

令和元年9月20日

## I. 概況

1. 売上高総額	4, 200億円余
2. 前年同月比	2.3% (店舗数調整後/5か月ぶりプラス)
3. 調査対象百貨店	78社 215店 (令和元年7月対比±0店)
4. 総店舗面積	5,371,698㎡ (前年同月比: -2.6%)
5. 総従業員数	65,852人 (前年同月比: -4.7%)
6. 3か月移動平均値	1-3月 -0.9%、2-4月 -0.2%、3-5月 -0.6%、 (店舗数調整後) 4-6月 -0.9%、5-7月 -1.6%、6-8月 -0.7%

[参考] 平成30年8月の売上高増減率は-0.2% (店舗数調整後)

### 【特徴】

8月の売上高は、2.3%増と5か月ぶりに前年をクリアした。気温上昇で主力の衣料品を中心に盛夏商材が好調に推移した他、引き続き輸入時計やラグジュアリーブランドなど高額品が高伸した。季節催事やセール等各種施策も好評だった。また大都市旗艦店では、一部商品に増税前の駆け込み消費も見られた。西日本では台風や大雨による休業や営業時間短縮などマイナス要素もあったものの、前年比で休日が2日増えたこともプラスに寄与した。

顧客別では、国内市場(シェア93.9%)が2.5%増と10か月ぶりにプラスした。インバウンド(シェア6.1%)は、訪日客の減少もあり、購買客数が7.1%減(3か月連続)と前月より3.4ポイントダウンした結果、0.7%減(256億円)と7か月ぶりのマイナスとなった。

地区別では、都市(10都市/3.1%増/5か月ぶり)、地方(10都市以外の地区/0.4%増/28か月ぶり)共にプラス転換した。6都市(仙台、東京、横浜、名古屋、京都、大阪)および5地区(北海道、東北、関東、中部、四国)で対前年増となったが、悪天候やインバウンドの影響を受けた都市・地区は苦戦した。

商品別では、主要5品目のうち、衣料品(14か月ぶり)、身のまわり品(2か月ぶり)、雑貨(7か月連続)、家庭用品(44か月ぶり)の4品目で前年実績を超えた。高額品(美術・宝飾・貴金属/23.8%増/7か月連続)や、家具(11.5%増/2か月連続)、家電(22.8%増/3か月連続)が二桁増と大幅な伸びを示した。また、紳士服・洋品(7.1%増/2か月ぶり)、その他衣料品(4.2%増/46か月ぶり)、化粧品(4.4%増/53か月連続)も好調だった。一方、食料品(1.5%減/4か月連続)は、帰省などの手土産需要で菓子(0.2%増/7か月連続)が堅調だったが、不振の生鮮を含む合計では前年には届かなかった。

### 【要因】

(1) 天候 : 気象庁発表「8月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)

◇気温は東日本でかなり高く、日照時間は西日本では少なく、降水量は多かった。また、北日本と東日本日本海側は、降水量が多かった。

(2) 営業日数増減 30.4日(前年同月比 -0.3日)

(3) 土・日・祝日の合計 10日( // +2日/土曜・振替休日各1日増)

(4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数122店舗)

①増加した: 43店、②変化なし: 43店、③減少した: 36店

(5) 8月歳時記(夏休み、お盆)の売上(同上/有効回答数87店舗)

①増加した: 13店、②変化なし: 62店、③減少した: 12店

# 全国百貨店 売上高速報 2019年8月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ( )が調整前

地区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
<b>全国</b>	<b>420,005,279</b>	<b>100.0</b>	<b>2.3 ( 2.0)</b>
<b>10都市</b>	<b>300,070,121</b>	<b>71.4</b>	<b>3.1</b>
札幌	11,965,410	2.8	-0.1
仙台	5,393,593	1.3	2.2
東京	115,906,049	27.6	4.7
横浜	25,763,108	6.1	2.2
名古屋	25,945,689	6.2	3.5
京都	17,509,608	4.2	1.3
大阪	62,628,070	14.9	3.9
神戸	10,518,733	2.5	-1.5
広島	8,928,435	2.1	-0.9
福岡	15,511,426	3.7	-0.2
<b>10都市以外の地区</b>	<b>119,935,158</b>	<b>28.6</b>	<b>0.4 ( -0.7)</b>
北海道	953,509	0.2	3.2 ( -26.2)
東北	6,143,286	1.5	3.8
関東	52,247,928	12.4	2.0
中部	10,221,497	2.4	6.2
近畿	16,977,419	4.0	-2.2
中国	8,662,886	2.1	-5.1
四国	6,887,805	1.6	9.2
九州	17,840,828	4.2	-5.8 ( -10.4)

第2表 商品別売上高

商品別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
<b>総 額</b>	<b>420,005,279</b>	<b>100.0</b>	<b>2.3 ( 2.0)</b>
紳士服・洋品	21,350,807	5.1	7.1 ( 6.6)
婦人服・洋品	69,256,619	16.5	0.0 ( -0.4)
子供服・洋品	7,953,544	1.9	-0.8 ( -1.1)
その他衣料品	8,580,467	2.0	4.2 ( 4.0)
<b>衣 料 品</b>	<b>107,141,437</b>	<b>25.5</b>	<b>1.6 ( 1.2)</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>56,765,994</b>	<b>13.5</b>	<b>1.8 ( 1.5)</b>
化粧品	45,177,416	10.8	4.4 ( 4.1)
美術・宝飾・貴金属	32,029,564	7.6	23.8 ( 23.7)
その他雑貨	16,616,397	4.0	-2.0 ( -2.1)
<b>雑 貨</b>	<b>93,823,377</b>	<b>22.3</b>	<b>9.0 ( 8.8)</b>
家具	5,414,741	1.3	11.5 ( 11.3)
家電	1,428,849	0.3	22.8 ( 22.7)
その他家庭用品	11,483,535	2.7	-0.2 ( -1.9)
<b>家庭用品</b>	<b>18,327,125</b>	<b>4.4</b>	<b>4.6 ( 3.3)</b>
生鮮食品	21,917,191	5.2	-4.0 ( -4.4)
菓子	34,767,679	8.3	0.2 ( -0.0)
惣菜	27,442,254	6.5	-1.0 ( -1.3)
その他食料品	31,240,638	7.4	-2.0 ( -2.2)
<b>食 料 品</b>	<b>115,367,762</b>	<b>27.5</b>	<b>-1.5 ( -1.8)</b>
<b>食堂 喫茶</b>	<b>14,355,424</b>	<b>3.4</b>	<b>-1.1 ( -1.3)</b>
<b>サービ</b>	<b>5,380,674</b>	<b>1.3</b>	<b>9.4 ( 9.3)</b>
<b>その他</b>	<b>8,843,486</b>	<b>2.1</b>	<b>-2.5 ( -2.7)</b>
<b>商 品 券</b>	<b>7,763,742</b>	<b>1.8</b>	<b>-8.4 ( -8.6)</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

## Ⅱ. 地区別の動き

1. 10都市売上動向	3.1% (店舗数調整後/5か月ぶりプラス)
2. 10都市以外の地区売上動向	0.4% (店舗数調整後/28か月ぶりプラス)

### 【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>10都市</b>	<b>3.1</b>	<b>2.2</b>	<b>5か月ぶりプラス</b>
札幌	-0.1	-0.0	3か月連続マイナス
仙台	2.2	0.0	3か月ぶりプラス
東京	4.7	1.3	5か月ぶりプラス
横浜	2.2	0.1	3か月ぶりプラス
名古屋	3.5	0.2	2か月ぶりプラス
京都	1.3	0.1	2か月ぶりプラス
大阪	3.9	0.6	7か月連続プラス
神戸	-1.5	-0.0	10か月連続マイナス
広島	-0.9	-0.0	4か月ぶりマイナス
福岡	-0.2	-0.0	2か月連続マイナス
<b>10都市以外の地区</b>	<b>0.4</b>	<b>0.1</b>	<b>28か月ぶりプラス</b>
北海道	3.2	0.0	2か月ぶりプラス*
東北	3.8	0.1	6か月ぶりプラス*
関東	2.0	0.3	14か月ぶりプラス
中部	6.2	0.1	14か月ぶりプラス
近畿	-2.2	-0.1	2か月連続マイナス
中国	-5.1	-0.1	17か月連続マイナス*
四国	9.2	0.1	2か月ぶりプラス
九州	-5.8	-0.3	6か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

### Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、雑貨が7か月連続、身のまわり品が2か月ぶり、衣料品が14か月ぶり、家庭用品が44か月ぶりのプラスとなった。また、食料品が4か月連続のマイナスとなった。その他の品目は、化粧品が53か月連続、美術・宝飾・貴金属、菓子が7か月連続、家電が3か月連続、家具が2か月連続、紳士服・洋品が2か月ぶり、婦人服・洋品が6か月ぶり、その他衣料品が46か月ぶりのプラスとなった。

#### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	<b>2.3</b>	<b>—</b>	<b>5か月ぶりプラス</b>
紳士服・洋品	7.1	0.3	2か月ぶりプラス
婦人服・洋品	+0.0	0.0	6か月ぶりプラス
子供服・洋品	-0.8	-0.0	14か月連続マイナス
その他衣料品	4.2	0.1	46か月ぶりプラス
<b>衣料品</b>	<b>1.6</b>	<b>0.4</b>	<b>14か月ぶりプラス</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>1.8</b>	<b>0.2</b>	<b>2か月ぶりプラス</b>
化粧品	4.4	0.5	53か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	23.8	1.5	7か月連続プラス*
その他雑貨	-2.0	-0.1	8か月連続マイナス*
<b>雑貨</b>	<b>9.0</b>	<b>1.9</b>	<b>7か月連続プラス</b>
家具	11.5	0.1	2か月連続プラス
家電	22.8	0.1	3か月連続プラス
その他家庭用品	-0.2	-0.0	41か月連続マイナス
<b>家庭用品</b>	<b>4.6</b>	<b>0.2</b>	<b>44か月ぶりプラス</b>
生鮮食品	-4.0	-0.2	10か月連続マイナス*
菓子	0.2	0.0	7か月連続プラス*
惣菜	-1.0	-0.1	2か月連続マイナス*
その他食料品	-2.0	-0.2	5か月連続マイナス*
<b>食料品</b>	<b>-1.5</b>	<b>-0.4</b>	<b>4か月連続マイナス</b>
<b>食堂喫茶</b>	<b>-1.1</b>	<b>-0.0</b>	<b>28か月連続マイナス</b>
<b>サービス</b>	<b>9.4</b>	<b>0.1</b>	<b>2か月ぶりプラス</b>
<b>その他</b>	<b>-2.5</b>	<b>-0.1</b>	<b>5か月連続マイナス</b>
<b>商品券</b>	<b>-8.4</b>	<b>-0.2</b>	<b>102か月連続マイナス</b>

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・橘・長柴 まで  
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>